【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和7年6月17日(2025.6.17)

【公開番号】特開2024-67605(P2024-67605A)
【公開日】令和6年5月17日(2024.5.17)
【年通号数】公開公報(特許)2024-090
【出願番号】特願2022-177808(P2022-177808)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】令和7年6月9日(2025.6.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
始動条件が成立したことにより、特別識別情報の可変表示を行うことが可能な遊技機であって、
表示手段と、
発光手段と、
発光制御手段と、を備え、
前記表示手段は、
遊技が終了した後の第１期間において、背景表示を表示可能であり、
前記第１期間が終了した後の第２期間において、デモンストレーション表示を表示可能であり、
前記特別識別情報の可変表示に対応する演出識別情報の可変表示を表示可能であり、
前記始動条件が成立した場合、前記演出識別情報の透過率が第１値から第１値よりも高い第２値となるように、該演出識別情報の可変表示を表示可能であり、
前記デモンストレーション表示が表示されているときに前記始動条件が成立した場合、前記演出識別情報の透過率が前記第２値となる前に、該デモンストレーション表示から該演出識別情報の可変表示に表示を切り替えて表示可能であり、
前記発光制御手段は、
前記第２期間において、前記デモンストレーション表示に対応するデモンストレーション表示輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御可能であり、
前記表示手段により前記デモンストレーション表示が表示されているときに前記始動条件が成立した場合、前記表示手段が該デモンストレーション表示から前記演出識別情報の可変表示に対応する表示に表示を切り替えるよりも前に、前記デモンストレーション表示輝度データテーブルから該演出識別情報の可変表示に対応する輝度データテーブルに切り替えて前記発光手段を制御可能であり、
前記第１期間において、前記背景表示に対応する背景表示輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御可能であり、
前記表示手段が前記デモンストレーション表示から前記背景表示に表示を切り替えるよりも前に、前記デモンストレーション表示輝度データテーブルから前記背景表示輝度データテーブルに切り替えて前記発光手段を制御可能であり、

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能であり、
前記有利状態に制御されることを示唆する所定演出を実行可能であり、
前記所定演出は、割れ前兆画像を表示した後に、該割れ前兆画像に対応した破片画像を表示する演出であり、
前記所定演出において前記破片画像が表示された後の所定画像として、第１所定画像と、該第１所定画像よりも前記有利状態に制御される期待度が高いことを示唆する第２所定画像と、を含む複数の所定画像のうちの何れかの所定画像を表示可能であり、
前記所定演出において前記破片画像を表示する前に、複数の態様のオブジェクト画像のうちの何れかの態様の前記オブジェクト画像を表示可能であり、
前記オブジェクト画像の態様に応じて、前記所定演出において前記破片画像が表示された後に何れの所定画像が表示されるかを示唆可能であり、
遊技制御手段と、
演出実行手段と、
保留記憶手段と、をさらに備え、
前記保留記憶手段は、始動条件が成立したことにもとづいて、所定数を上限として可変表示に関する情報を保留記憶として記憶することが可能であり、
前記遊技制御手段は、前記特別識別情報の可変表示が終了したときに、次の前記特別識別情報の可変表示に対応する保留記憶がある場合に次の前記特別識別情報の可変表示を実行可能であり、
前記演出実行手段は、
保留記憶が記憶されたときに、第１保留表示と、該第１保留表示と異なる態様の第２保留表示と、を含む複数種類の保留表示のうち１の保留表示を表示可能であり、
前記所定数未満の保留記憶が記憶されている状況において、
第１タイミングで始動条件が成立した場合、前記第１保留表示を第１開始態様で表示開始し、第１途中態様に変化させた後に第１完了態様に変化させて表示可能であり、
前記第１タイミングで始動条件が成立した場合、前記第２保留表示を第２開始態様で表示開始し、第２途中態様に変化させた後に第２完了態様に変化させて表示可能であり、
前記第１タイミングより後の第２タイミングで始動条件が成立した場合、前記第１保留表示を前記第１開始態様で表示開始し、前記第１途中態様に変化させ、次の前記特別識別情報の可変表示が開始されることに基づいて前記第１完了態様に変化させて表示可能であり、
前記第２タイミングで始動条件が成立した場合、前記第２保留表示を前記第２開始態様で表示開始し、前記第２途中態様に変化させ、次の前記特別識別情報の可変表示が開始されることに基づいて前記第２完了態様に変化させて表示可能であり、
前記第２タイミングより後の第３タイミングで始動条件が成立した場合、前記第１保留表示を前記第１開始態様及び前記第１途中態様で表示することなく前記第１完了態様で表示可能であり、
前記第３タイミングで始動条件が成立した場合、前記第２保留表示を前記第２開始態様及び前記第２途中態様で表示することなく前記第２完了態様で表示可能である、
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明の請求項１に記載の遊技機は、
始動条件が成立したことにより、特別識別情報の可変表示を行うことが可能な遊技機であって、
表示手段と、

発光手段と、
発光制御手段と、を備え、
前記表示手段は、
遊技が終了した後の第１期間において、背景表示を表示可能であり、
前記第１期間が終了した後の第２期間において、デモンストレーション表示を表示可能であり、
前記特別識別情報の可変表示に対応する演出識別情報の可変表示を表示可能であり、
前記始動条件が成立した場合、前記演出識別情報の透過率が第１値から第１値よりも高い第２値となるように、該演出識別情報の可変表示を表示可能であり、
前記デモンストレーション表示が表示されているときに前記始動条件が成立した場合、前記演出識別情報の透過率が前記第２値となる前に、該デモンストレーション表示から該演出識別情報の可変表示に表示を切り替えて表示可能であり、
前記発光制御手段は、
前記第２期間において、前記デモンストレーション表示に対応するデモンストレーション表示輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御可能であり、
前記表示手段により前記デモンストレーション表示が表示されているときに前記始動条件が成立した場合、前記表示手段が該デモンストレーション表示から前記演出識別情報の可変表示に対応する表示に表示を切り替えるよりも前に、前記デモンストレーション表示輝度データテーブルから該演出識別情報の可変表示に対応する輝度データテーブルに切り替えて前記発光手段を制御可能であり、
前記第１期間において、前記背景表示に対応する背景表示輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御可能であり、
前記表示手段が前記デモンストレーション表示から前記背景表示に表示を切り替えるよりも前に、前記デモンストレーション表示輝度データテーブルから前記背景表示輝度データテーブルに切り替えて前記発光手段を制御可能であり、
遊技者にとって有利な有利状態に制御可能であり、
前記有利状態に制御されることを示唆する所定演出を実行可能であり、
前記所定演出は、割れ前兆画像を表示した後に、該割れ前兆画像に対応した破片画像を表示する演出であり、
前記所定演出において前記破片画像が表示された後の所定画像として、第１所定画像と、該第１所定画像よりも前記有利状態に制御される期待度が高いことを示唆する第２所定画像と、を含む複数の所定画像のうちの何れかの所定画像を表示可能であり、
前記所定演出において前記破片画像を表示する前に、複数の態様のオブジェクト画像のうちの何れかの態様の前記オブジェクト画像を表示可能であり、
前記オブジェクト画像の態様に応じて、前記所定演出において前記破片画像が表示された後に何れの所定画像が表示されるかを示唆可能であり、
遊技制御手段と、
演出実行手段と、
保留記憶手段と、をさらに備え、
前記保留記憶手段は、始動条件が成立したことにもとづいて、所定数を上限として可変表示に関する情報を保留記憶として記憶することが可能であり、
前記遊技制御手段は、前記特別識別情報の可変表示が終了したときに、次の前記特別識別情報の可変表示に対応する保留記憶がある場合に次の前記特別識別情報の可変表示を実行可能であり、
前記演出実行手段は、
保留記憶が記憶されたときに、第１保留表示と、該第１保留表示と異なる態様の第２保留表示と、を含む複数種類の保留表示のうち１の保留表示を表示可能であり、
前記所定数未満の保留記憶が記憶されている状況において、
第１タイミングで始動条件が成立した場合、前記第１保留表示を第１開始態様で表示開始し、第１途中態様に変化させた後に第１完了態様に変化させて表示可能であり、

前記第１タイミングで始動条件が成立した場合、前記第２保留表示を第２開始態様で表示開始し、第２途中態様に変化させた後に第２完了態様に変化させて表示可能であり、
前記第１タイミングより後の第２タイミングで始動条件が成立した場合、前記第１保留表示を前記第１開始態様で表示開始し、前記第１途中態様に変化させ、次の前記特別識別情報の可変表示が開始されることに基づいて前記第１完了態様に変化させて表示可能であり、
前記第２タイミングで始動条件が成立した場合、前記第２保留表示を前記第２開始態様で表示開始し、前記第２途中態様に変化させ、次の前記特別識別情報の可変表示が開始されることに基づいて前記第２完了態様に変化させて表示可能であり、
前記第２タイミングより後の第３タイミングで始動条件が成立した場合、前記第１保留表示を前記第１開始態様及び前記第１途中態様で表示することなく前記第１完了態様で表示可能であり、
前記第３タイミングで始動条件が成立した場合、前記第２保留表示を前記第２開始態様及び前記第２途中態様で表示することなく前記第２完了態様で表示可能である、
ことを特徴としている。

この特徴によれば、上記実情を鑑み、商品性を高めた遊技機を提供することができる。